

港 灣 經 濟 研 究

輸送体系の変化と港湾

日本港湾経済学会年報

序 北見俊郎

研究

共通論題

競争関係にある港湾の背後圏と輸送需要	黒田秀彦	(1)
非集計モデルを用いた輸送体系の変化予測	長尾喜三	(15)
コンテナ輸送市場の構造変動と港湾	木村武彦	(34)
本四架橋の関連調査について		
——四国地方の港湾と海上交通を中心として——	中本昭夫	(53)
青函トンネルの経済性	和泉雄三	(67)
輸送体系の変化と港		
——地方の港における港湾と地域経済の乖離について——		
(留萌港の分析)	徳田欣次	(83)
交通体系の再構築と港湾	今野修平	(101)

自由論題

明治期に於ける港湾事情と商品流通				
——東北諸港報告書から見た場合——	安	彦	正	一 (116)
港湾行政統一への歴史的過程	香	川	正	俊 (141)
コンテナ港問題の基礎的分析				
——中国の港を中心に——	山	上		徹 (155)
本四架橋と港湾物流	市	来	清	也 (174)
地域産業と港湾				
——伊勢湾における港湾機能を求めて——	日比野	光	伸	(190)
港湾労働市場の賃金決定機構の研究	坂	井	吉	良 (214)
生産資本の港湾経営	千須和	富士夫		(238)

文献紹介

紅村文雄著「港湾法と名古屋港の管理運営」	北見俊郎	(264)
和泉雄三著「港湾政治経済学」	山本和夫	(268)
港湾産業研究会編「港湾産業活動の課題」	梶幸雄	(272)
Jan Owen Jansson and Dan Shneerson		
「Port Economics」	宮田騰宏	(275)

学会記録

地方港湾の構造と課題(第21回)全国大会(富山新港)シンポジウム概要	(280)
部会活動状況	(290)
編集後記	(292)

日本港湾経済学会編